

JOC ジュニアオリンピックカップ第 51 回全日本中学生ホッケー選手権大会 における新型コロナウイルス感染防止対応策について

公益社団法人 日本ホッケー協会中学校部会

【1. 当大会への参加について】

- ① 大会に参加する選手は、トレーニングを十分積んだ上で参加すること。
- ② 大会開催地への移動は、教員の引率により、バス等による移動が望ましいが、難しい場合は公共交通機関での利用を可とする。バス等による移動の際は換気に十分気を付けるとともにマスク着用を義務付ける。
- ③ 大会参加チームは、参加選手の状態をコンディショニングチェック用紙により把握する。
(大会 2 週間前から実施する。ブロック大会が大会 2 週間以内の場合があるので注意。)
 - 体温、体調（咳の有無、のどの異常の有無、味覚等）
 - 同居者の状態
 - 外出の有無 等
- ④ 以下の事項に該当する場合は、当該選手について当大会への参加はさせない。また、下記に該当する選手がいる場合、チームの参加については実行委員会の指示を仰ぐ。
 - 体調がよくない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染症が疑われている方がいる場合
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ⑤ 保護者が活動内容を理解し、参加を承諾していることを条件とする。（了承を得られない場合は、参加させない。）

【2. 大会期間中の生活面・環境面について】

ピッチ以外の生活の中で感染しないために、「密閉」（換気の悪い場所）、「密集」（多くの人が集まる場所）、「密接」（人と人の距離が近い場面）これらのいわゆる三密を回避するとともに、マスクの着用、こまめな手洗い、うがいなど基本的な感染対策を徹底する。

- ① 会話をする場合はマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを十分にとる。
- ② 食事

弁当やテイクアウトを基本とするが、レストランを利用する場合は、以下のことを徹底する。

- ✓ レストラン入り口で、手洗い、うがい、手指アルコール消毒を行う
- ✓ 食事まではマスクを着用する。
- ✓ レストラン内では会話を控え食事をする。
- ✓ 食事時間を可能な限り分散する。

③ 密室でのミーティングは行わない。

【3. その他】

- ① 大会当日は、チーム全員の体調等についてコンディショニングチェック用紙により、体温、体調のチェックを行い、会場に入場した選手の一覧を受付に提出する。
- ② 会場に入場する際は、実行委員会が発行するADカードを着用すること。
- ③ フィールドへの出入りは、決められた場所から行う。
- ④ 練習前、後とも手を洗い消毒する。
- ⑤ 道具の管理の徹底
 - 自分のスティックや防具、装具は自分だけが使用し、他の選手が身につけたものは着用しない。
GK 道具は自分のものしか使わない。
※PCのフェイスマスクやグローブについても、名前を記入、もしくはマークをつけるなどして共用を避ける工夫をすること。（試合前にTOによる確認をおこなう。）
 - チーム備品であるボール等についても、極力手で触らないようにし、触った後に手指の消毒を必ず行う。
 - ピッチ上（含ベンチ内）でマウスピースを洗わない。手でマウスピースを触らない。マウスピースを触ったら、必ず手洗いを励行する。
 - 水筒、汗拭きタオルなど個人で使用するものを持参し、共有しない。
- ⑥ チームベンチや備品は、試合ごとに専門スタッフにより消毒作業を行う。よって、各チームは消毒作用が終了し、入場の許可があるまで次試合テントで待機する。
- ⑦ 大会期間中、発熱などの症状が確認された選手・スタッフは直ちに活動を中断し、大会実行委員会に速やかに申し出ること。
大会実行委員会は当該選手等の隔離などの適切な対応を行う。
当該チームは、医療機関への受診を指示された場合には速やかにその指示に従うこと。
- ⑧ トイレ以外の場所でつばを吐いたり、鼻水、痰（たん）を吐いたりしない。特にピッチ上では厳禁とする。